集中豪雨対策を

農地の調整機能を活用

米澤修司　議員（民主党）

高齢者・障がい者などの安否確認について。

安心まちづくり室長　㋐避難所の機能、あり方について今後研究していく。避難所のトイレは仮設を考えているが、今後も研究する。㋑農業者の協力を得ながら農地が持つ洪水調整機能を発揮するよう要請する。公的貯水設備については施設建設時や改修時に研究・検討していく。㋒自主防災組織を全市内で立ち上げる計画。平成19年度には要配慮者実態調査に取り組み、課題を整理、分析し今後の支援策に生かす。

❶防災対策。㋐地震など災害時の避難所について。㋑近年増えている集中豪雨対策について。㋒

❷府や事業所と連携した就労支援の推進を。また、働きすぎで心や体を壊す人が増えている。相談窓口の開設を。

保健福祉部長　母子家庭や生保世帯の方などの就労支援担当者を置いている。府のジョブパークやハローワークと連携し情報提供や就労困難者に対するセミナーの開設など積極的に取り組む。市内の事業所との連携については商工会とも相談し研究していく。労働相談については専門的知識や経験が必要で専門機関への斡旋、紹介や情報提供、市民無料法律相談等で対応する。広報紙等で啓発し、労働問題に限定した相談日の設定も検討する。

❸民間委託する場合に低価格だけで決めない総合的な評価制度を。

総務部長　安定的なサービス供給、就労支援、雇用の促進の観点からも可能なものには配慮する。

❹市職員の健康管理・時間外勤務の縮減を。

総務部長　健康管理計画等に基づき職員の心と体の健康管理に努めている。時間外勤務については、一部職員に偏った過重な時間外勤務とならないよう事務分担の見直し、弾力的な応援体制、事務改善等健康管理に努める。

洪水調整機能が期待される農地（江津）

枚方市と安全協定を

あくまで締結をめざす

次田典子　議員（無会派）

❶市長は財政健全化を言うが、まず自分の退職金２５００万円の減額を考えてはどうか。

市長　私の退職金については今後十分考える。

❷枚方市長も巻き込んだ談合問題の渦中の枚方清掃工場は17億円もの建設費水増し。安全確認をし操業協定を結べ。大津市の焼却炉建設には宇治田原町長が先頭に立って京都府知事まで動かした。

総務部長　枚方市にあくまでも協定締結をお願いしている。

❸枚方市は有害汚泥を市境に埋めたままにしている。覚書もほご同然に。水質検査の継続と完全撤去の申し入れをすべき。

経済環境部長　井手川の水質悪化すれば枚方市と協議、対応する旨の確認書を取り交わしたい。

❹同和問題優先を言いすぎてはいないか。人権問題に優先順位はない。女性ルームも不十分すぎる。男女共同参画センターの早期建設をすべきだ。

市民部長　解放同盟支部との懇談会の持ち方については検討していく。

❺３月に策定された職員倫理条例はコーヒー程度の飲食を容認するなど余りに甘すぎる内容である。また、無料の職員駐車場の見直しをすべきだ。

総務部長　駐車場については見直しを職員組合に提起したい。

❻常磐苑と大住ふれあいセンターを結ぶ市の巡回バスはガラガラ。暫定的にコミュニティバスのような使い方を考えられないか。駅前などにも止め、利用者の年齢制限なども見直すべきだ。

副市長　９月には有効利用に向け、検討する。

❼図書館の利用時間の延長や中部住民センターの申込方法の改善など、公共施設のあり方を見直して、市民サービスを徹底すべきだ。

市長公室長　利用者のニーズの把握に努め、弾力的運営やコスト意識を持った経営管理でサービス向上を図りたい。

市境に建設されている枚方市第２清掃工場

大住工専　拡大と支援策は

可能な限り支援する

市田博　議員（一新会）

❶大住工業専用地域の拡大と企業誘致について。大住地域の「明日を考える会」が地権者の意気によって組織された。現時点において新市長は、どの様な支援を考えているか、その方向性は。

市長　新名神高速道路、防賀川及び大住工専地域に挟まれた地域の地権者自らが推進組織を立ち上げられ、工業系の土地利用に向け、合意形成を進められており、市としても事業化に向け支援をしている。今後も可能な限り支援をしていく。

❷人口増加による桃園小学校区の幼児に対する施策について、校区内に幼稚園の建設計画は。健康ケ丘地域は若い世帯が増え、乳児・幼児・小学生が年々増加している。大住幼稚園で現在１８８名中、１３１名が桃園小学校区より通園し、遠距離通園は幼児には無理があると考えるが改善策は。幼稚園が黙認している車の送迎も道路規制等で問題がある。乳児を抱える家庭には改善策が必要。

教育部長　桃園小学校区の園児の増加も一過性の傾向が強く、幼稚園を新設しても、将来園児減少が生じることが想定され、幼稚園新設は考え難い。幼児の徒歩通園も入園説明会の際にお願いをし、入園いただいている。

❸興戸区内の開発問題に関わる避難通路の進捗状況は。

建設部長　今日まで地権者、地域住民の方と協議を重ね、通路の整備に向けた現地測量等に関係地権者の深いご理解を得、既に着工している。今後一日も早く通路が完成出来るよう鋭意努力する。

❹風俗営業関連遊技施設の規制について。各自治会代表者から大住地域にパチンコ店出店を規制せよと強い要望があるが。

建設部長　地権者の意向を確認し、建築協定等による立地規制の可能性について、検討し早期に地権者の意向を聴取する。

地権者により工業系の土地利用が検討されている区域（点線は新名神予定路線）

中学校給食の実施を

保護者から要望がない

水野恭子　議員（共産党）

❶安全で豊かな学校給食を。学校給食は教育の一環であり、給食調理員も学校教育の担い手の一人として位置づけられている。営利を目的とする企業にゆだねる民間委託はやめよ。

市長　民間でできることは民間にという行政改革大綱の趣旨に沿って実施を計画している。給食の安全は教育委員会が責任を持って行われるもの。

❷学校給食の民間委託は偽装請負になりかねない。請負契約とは、民間業者が自らの業務として企画や専門技術に基づいて業務を処理し、市は委託労働者に対して労務管理や作業指示は出来ないと決められている。学校給食は自治体の栄養士が献立を作り、材料も購入。調理方法も指示をする。しかも調理室、設備機材も自治体が無料で使用させる事になる。これでは偽装請負になるのではないか。このように法的に疑いのある民間委託は行わず、正規職員を配置し市の責任で安全で豊かな給食を行うべき。

教育部長　職安法施行規則など十分加味し、適正な業者選定を行う。

❸中学校給食について重要な成長期である中学生への給食を実施すべきである。まず、生徒、保護者へのアンケートを実施せよ。

教育部長　３中学校の校長に依頼し調査したが、保護者から要望がほとんどないと回答。また、財政面でも実施できない。

❹女性交流支援ルームの土、日曜日の開館を。会議室、保育室の設置を。また、審議会等女性の登用率の比率が低い。要綱をつくり高める施策は。

市民部長　支援ルームについて利用状況やニーズを見極め検討。女性の審議会の登用についての要綱は考えていない。

❺大住ケ丘第４公園の階段にてすりと段差の解消を。

建設部長　優先順序を決めて整備していく。

おいしそうに給食を食べる児童（薪小学校）